

令和3年度釧路高専公開講座

道民カレッジ
連携講座

文学スペシャル



釧路高専の国語教員が独自の視点で作家や作品の魅力について熱く語ります。

12月12日(日) 13:00～16:10

釧路市中央図書館7階 多目的ホール

定員:50名(申込先着順)

第1講 13:00～14:30

「文学者たちの〈十二月八日〉

～開戦から八十年、〈戦争と文学〉について考える～」

講師：館下 徹志

太平洋戦争の開戦から80年。当時、日本の文学者たちは開戦の日〈十二月八日〉についてどのようなことを書き残そうとしたのだろうか。昭和17年(1942年)前半の雑誌や新聞に掲載された詩・小説・随筆作品を取り上げ、文学が戦争に関わる様相を見たあとで、太宰治の短編小説『十二月八日』を読み解く。

第2講 14:40～16:10

「三島由紀夫の文学」

講師：小田島 本有

衝撃的な自決事件から半世紀以上経過した今も三島由紀夫は注目される作家であり続けている。戦時中に青春時代を過ごした彼にとって、戦後は絶えず違和感を覚えるものであった。彼の一連の作品はその証左として存在している。改めて三島文学の意義を考察する。

申込方法：電話 または メール

☎ 0154-57-7216 (9:00～17:00 平日) 申込締切:12月8日(水)

✉ kenkyu@kushiro-ct.ac.jp

受講料:無料

お申込みの際には、郵便番号、住所、氏名(ふりがな)、電話番号をお知らせください。

新型コロナウイルス感染症防止対策について最大限の留意を払い取組みます。状況を踏まえ、中止することもございますので、ご了承ください。受講者の皆様には下記の点につきまして、ご協力をお願いいたします。
マスクの着用 / 会場への立入りの前の手指消毒 / 体温計測 /
なお、発熱など、体調が優れない方は受講をご遠慮ください。

【共催】釧路工業高等専門学校

【問合せ】釧路市大楽毛西2丁目32番1号

総務課研究協力係 TEL:0154-57-7216

釧路文学館

釧路市北大通10丁目2-1

釧路市中央図書館6F TEL:0154-64-1740